

高齢者の死者が全死者の約 8 割

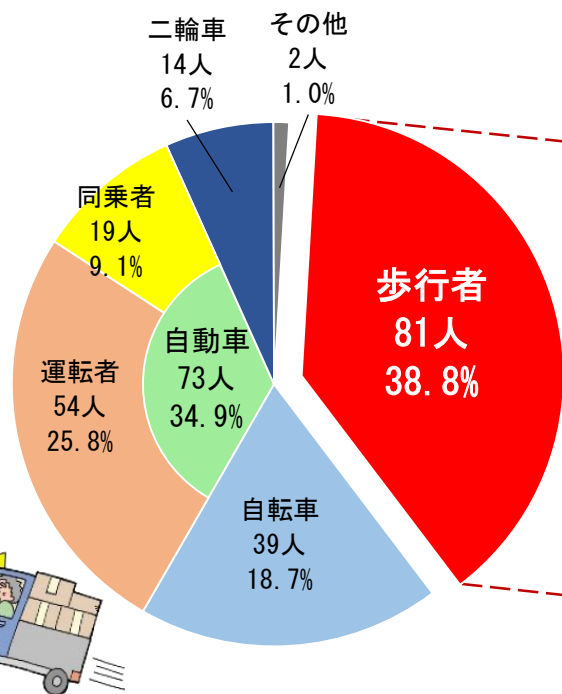
過去5年間（令和3年～令和7年）の死亡事故から

令和7年中の交通事故で亡くなった65歳以上の高齢者は42人で、最近5年間の発生状況はほぼ横ばいで推移しています。

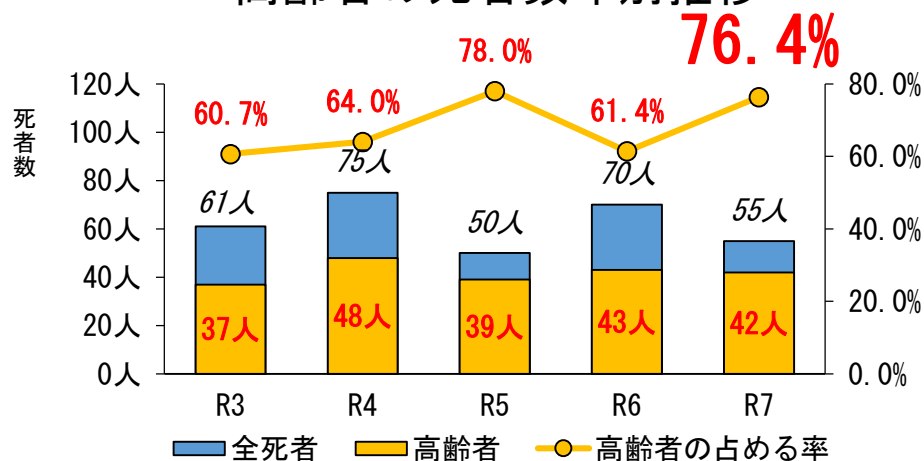
さらに、全死者の約8割を占め、依然として高率で推移しています。

また、過去5年間の高齢者の死者のうち、歩行者の死者が最も多く約4割を占め、このうち75歳以上が高齢歩行者の8割強を占めています。

高齢者の死者・状態別

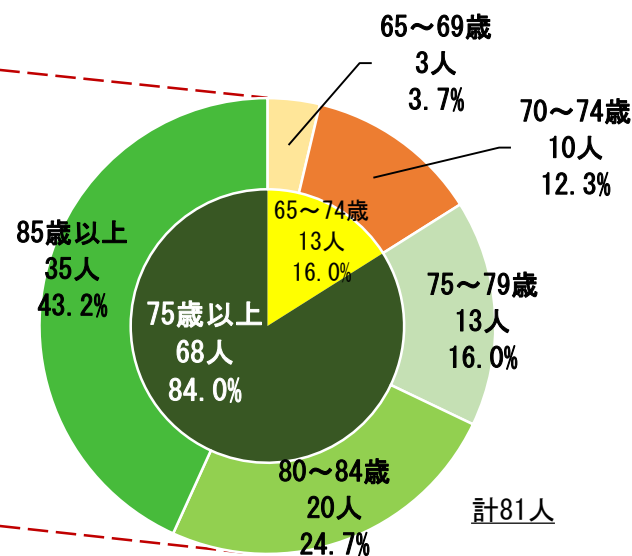


高齢者の死者数年別推移



全死者に占める高齢者の割合

高齢歩行者の死者・年齢層別



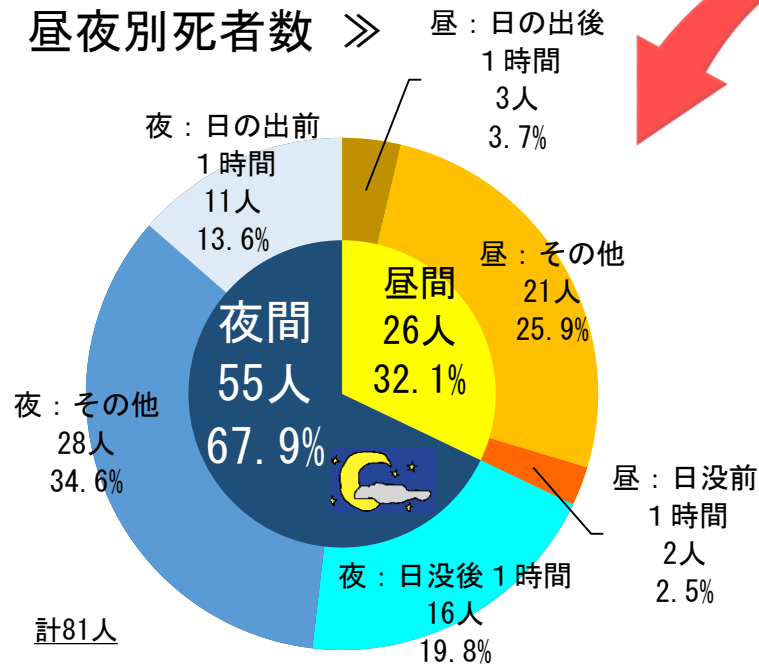
高齢歩行者は夕暮れ・横断中に注意！

過去5年間（令和3年～令和7年）の死亡事故から

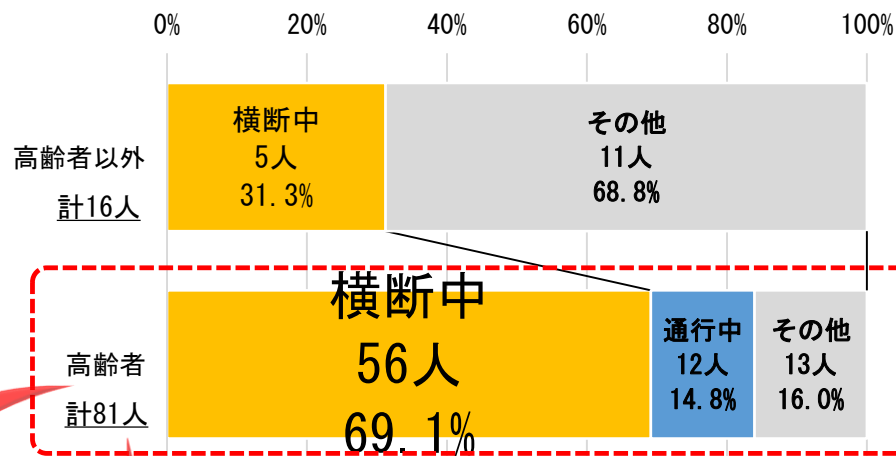
高齢歩行者の死者のうち道路横断中は約7割を占め、高齢者以外（3割強）と比べて高い割合を占めています。

また、高齢歩行者の死者のうち約7割が夜間に被害に遭っており、特に夜間は道路横断中の事故が多く、昼間の約2.7倍の発生となっています。

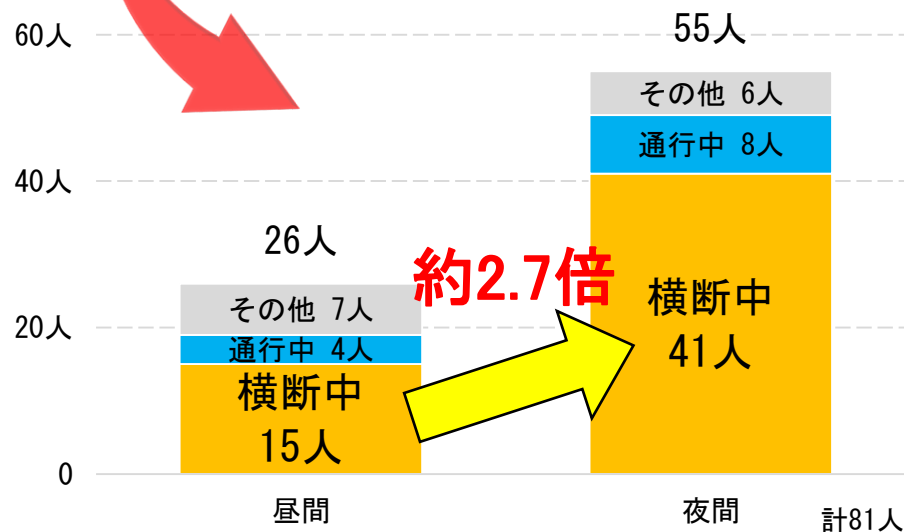
《 昼夜別死者数 》



《 高齢歩行者の死者・道路利用状況別 》



《 道路利用状況別死者数 》



夕暮れから夜間の外出時は反射材を着用！

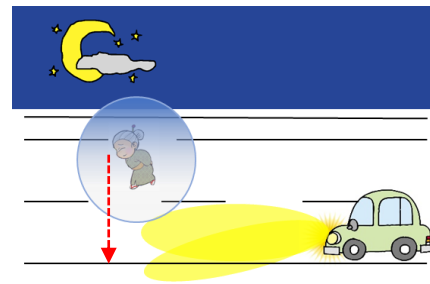
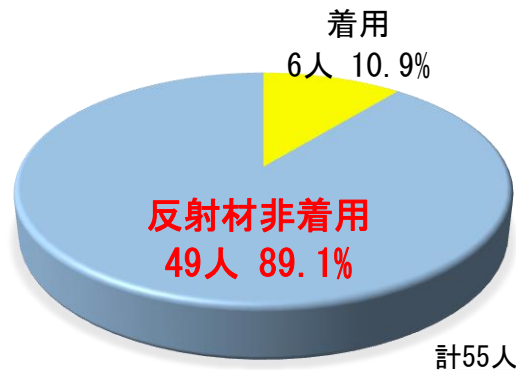
過去5年間（令和3年～令和7年）の死亡事故から

夜間の高齢歩行者の死者55人のうち、反射材を着用していたのは6人で、それ以外の49人は反射材を着用していませんでした。

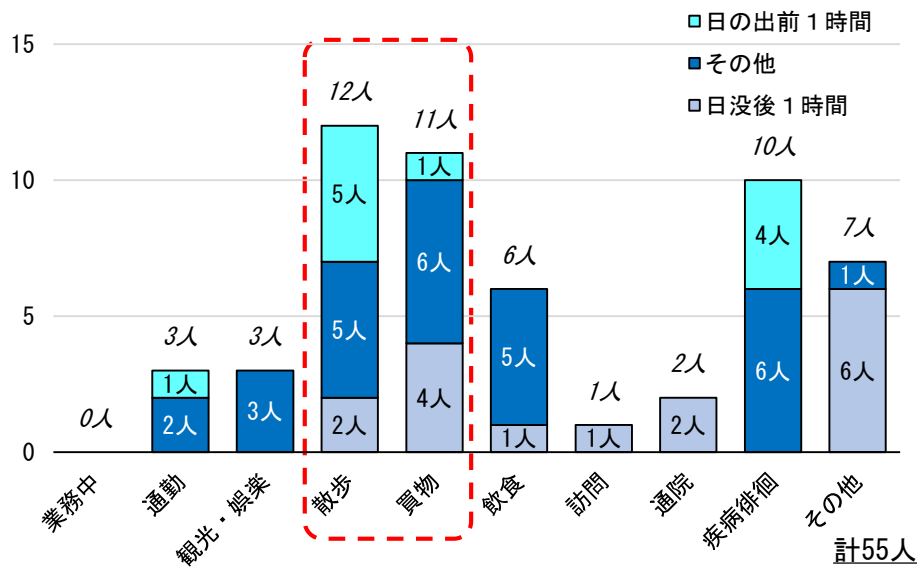
特に夜間事故の通行目的では、散歩、買物が多く、次いで疾病徘徊が多い状況です。

また、高齢歩行者が道路横断中に亡くなった56人のうち、運転者から見た歩行者の横断方向を昼夜で比較すると、『右からの横断する歩行者』が昼間は6割に対して、夜間は約8割と高い状況です。

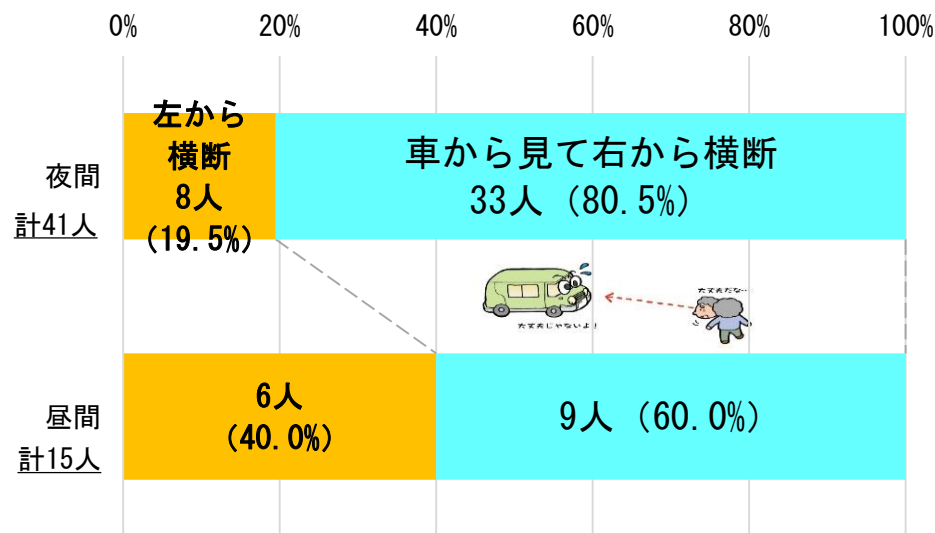
夜間の高齢歩行者の死者 反射材着用状況



夜間の高齢歩行者の死者・通行目的



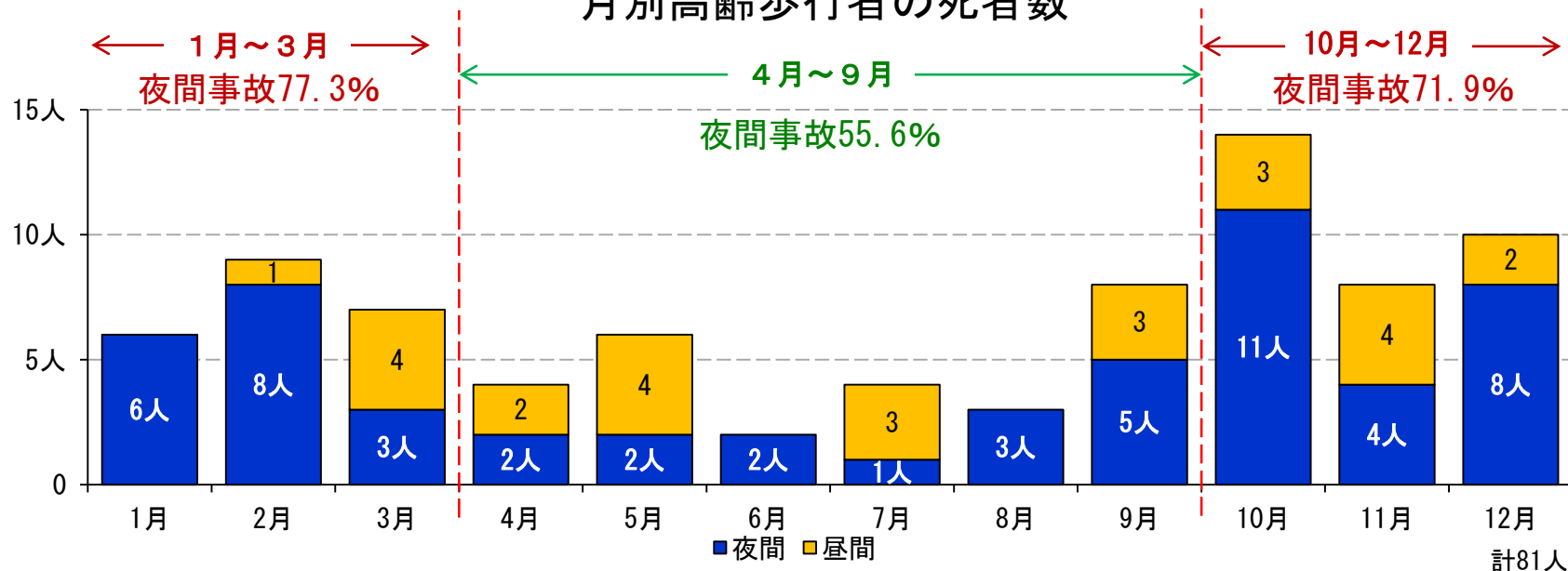
高齢歩行者の道路横断中死者



秋・冬に多発する高齢歩行者の事故

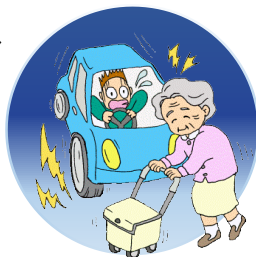
過去5年間（令和3年～令和7年）の死亡事故から

月別高齢歩行者の死者数



高齢歩行者の死者を月別にみると、10月以降から3月にかけて夜間に多く発生しています。

高齢歩行者の死者数を10月～3月と4月～9月で昼夜別に比較すると、昼間の10月～3月は4月～9月の約1.2倍であるのに対して、夜間は約2.7倍の死者数と多い状況です。



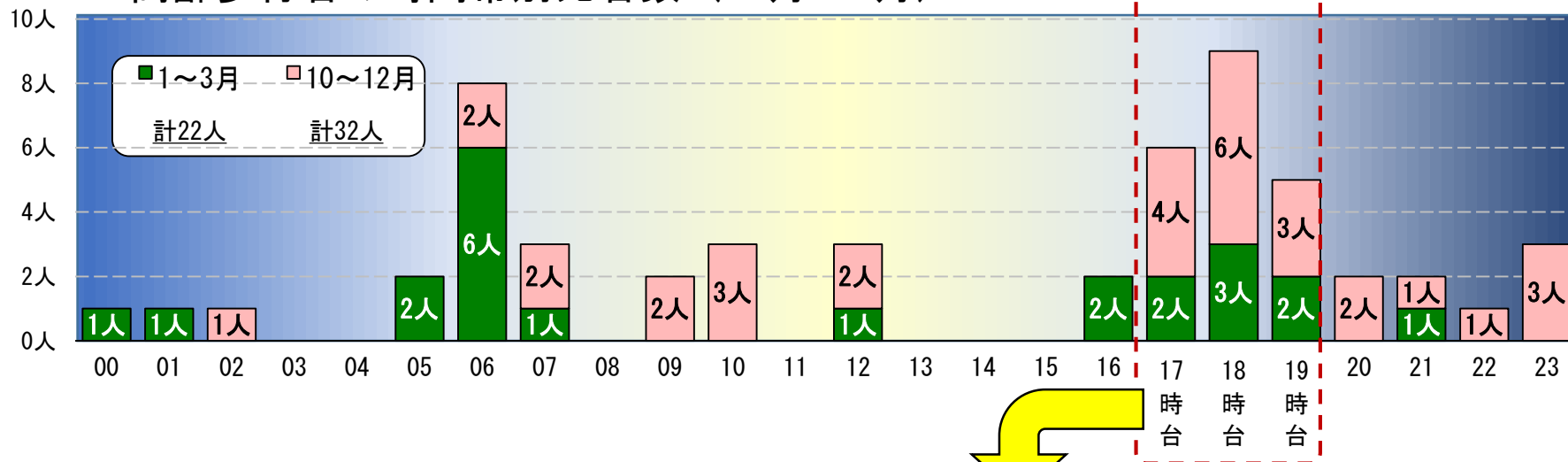
高齢歩行者の死者・昼夜別



秋・冬に多発する高齢歩行者の事故

過去5年間（令和3年～令和7年）の死亡事故から

高齢歩行者の時間帯別死者数（10月～3月）

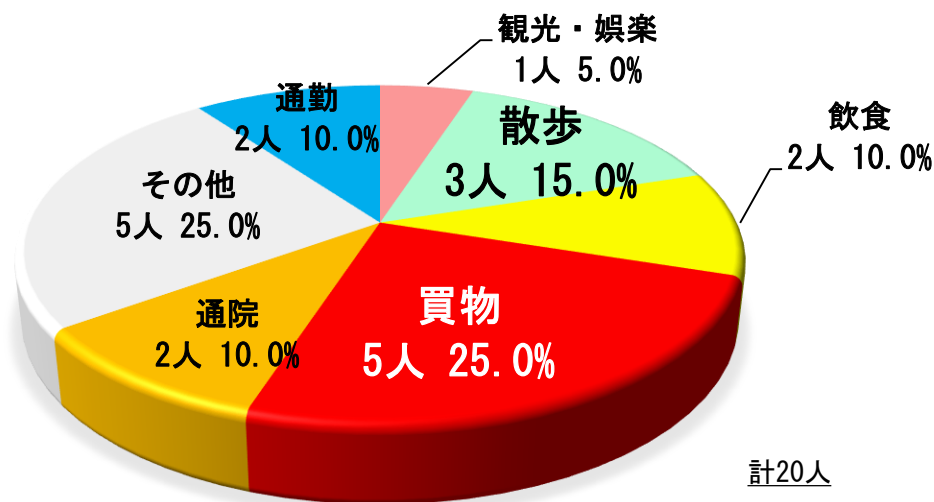


高齢歩行者の死亡事故は、例年、日没時間が早まる秋や冬に多く発生する傾向があります。

過去5年間の10月～3月に発生した高齢歩行者の死亡事故の発生時間帯では、日没後である17時～19時台に多く発生しています。

また、この時間帯の高齢歩行者の通行目的をみると買物が最も多く、次いで散歩が多い状況です。

高齢歩行者の通行目的（10月～3月の17時～19時台）



高齢歩行者の交通事故防止

《 運転者の皆さんへ 》

●危険を予測し速度を控えた安全運転の徹底

特に夜間は、危険をより早く発見して対応できるように、速度を控え、危険を予測した運転をしましょう。

また、運転者から見て道路右からの横断者に十分注意しましょう。

●早めのライト点灯とハイビームの活用

夕方4時を目安に、早めにライトを点灯させましょう。

夜間、先行車や対向車がない場合はハイビームを活用して危険を早めに発見しましょう。



《 歩行者の皆さんへ 》

●『止まる』『見る』『待つ』『確かめる』の徹底

道路を横断するときは一度立ち止まり、左右の安全を確実に確認しましょう。

●『明るい服装』と『反射材』着用の徹底

夜間外出する際は、明るい服装を選び、必ず反射材を身につけましょう。

